

平成24年度
実施事業

事務事業名 特別保育事業（休日保育）

区分	No	名称					
章	1	やさしさと共生するまち					
節	1	安心して子どもを生き育てられるまちをつくる					
施策	1	子育ての不安と負担の軽減					
小分類	3	子育て環境の整備					
主要な施策	4	④乳幼児等保育の充実					
事務事業番号	004	事業開始年度	平成 17 年度	事業終了年度	平成 ー 年度	会計種別	一般会計

部 名	保健福祉部	グループ名	子育てグループ
-----	-------	-------	---------

事務事業の概要

《Plan・Do》

目的	(事務事業の実施目的を具体的に記入してください)
	保護者の就労形態の多様化に伴い、保育に欠ける子どもの健全育成を目的とする。
事業内容及び実績	(事業内容及び平成24年度の実績を具体的に記入してください)
	保護者の勤務日が閉所日である日曜・祝日である場合、富士保育所において平日と同様の内容で保育を実施することで、子育てや保育環境の充実、保護者の負担軽減を図る。 ▼登録人数：20人
今後の方向性	(次年度以降の事業展開における改善など今後の方向性を具体的に記入してください)
	保護者の就労支援のため、保育所の閉所日に保育を実施する。
根拠法令等	(事業を実施する際、根拠となる法令・条例・規則・要綱等の名称を全て記入してください)
	児童福祉法、登別市休日保育事業実施要綱

事業費（財源内訳）の推移

《Plan・Do》

区分		単位	H23年度 決算	H24年度 決算	H25年度 当初予算	H26年度 見込	H27年度 見込
国庫支出金	名称	千円					
道支出金	名称	千円					
地方債	名称	千円					
その他	名称	千円	150	27	158	158	158
一般財源	名称	千円		67			
事業費 合計			150	94	158	158	158

指標の推移

《Check》

区分		単位	区分	23年度 実績	24年度 実績	25年度 目標	26年度 目標	27年度 目標
成果 指標	① 実施保育所数	か所	目標値	1	1	1	1	1
			実績値	1	1			
	② 延べ利用日数	日	目標値	400	400	400	400	400
			実績値	228	244			

比較		《Check》
平成24年度実施以前又は実施中に見られた課題、問題点等	左記の解決に向け行った取組や対策、工夫等	
<p>目標値には達しない状況で、1日の利用が1名という休日もある。</p>	<p>保護者の就労形態の変化もあり、日曜日や祝祭日は仕事が休みの事が多いと思われるが、ニーズがあるため実施している。</p>	

担当グループによる事務事業評価の内容（複数回答可） 《Check》

1. 事務事業の妥当性について			
市が事業主体として実施していくべき妥当性の高い事業ですか？	<input type="radio"/>	① 市が主体に行うべき事業である	判断理由及びその他所見 本事業は、子育て支援の施策に欠かせないものである。
	<input type="radio"/>	② 民間(事業者、市民団体等)でも実施可能である	
	<input type="radio"/>	③ 国、道、他団体等との連携や広域化が可能である	
	<input type="radio"/>	④ 国、道、民間等の事業と重複・類似している	
2. 事務事業の必要性について			
市民ニーズの状況等から勘案して、必要性の高い事業ですか？	<input type="radio"/>	① 市民、団体等から具体的な要望がある	判断理由及びその他所見 保護者からのニーズがある限り、必要性の高い事業と考えている。
	<input type="radio"/>	② 市民アンケートの結果から必要性が高い	
	<input type="radio"/>	③ 社会情勢、地域事情等から必要性が高い	
	<input type="radio"/>	④ 市民の大部分が関連することから必要性が高い	
3. 事務事業の効率性について			
事業内容とコスト(事業費)のバランスがよい効率性の高い事業ですか？	<input type="radio"/>	① 低予算、少労力で高い効果をあげている	判断理由及びその他所見 事業費においては、必要最小限で実施している。
	<input type="radio"/>	② 市で実施するほうが民間委託より効率性が高い	
	<input type="radio"/>	③ 多額の経費や労力を要するがやむを得ない	
	<input type="radio"/>	④ 将来的に効率性を向上できる	
4. 事務事業の成果について			
目的を達成するための成果はあがっていますか？	<input type="radio"/>	① 成果指標の向上が見られる	判断理由及びその他所見 本事業の目的である、児童の健全育成及び保護者の就労支援という点では成果があがっていると考えます。
	<input type="radio"/>	② 市民、団体等の声から成果を感じられる	
	<input type="radio"/>	③ 目に見える形で成果があがっている	
	<input type="radio"/>	④ 成果の把握は困難である	

①担当グループによる評価 《Check》

維持	左記の評価を選択した具体的な理由(根拠) 本事業は、保護者へのアンケート調査の結果に基づき行った経緯があり、今後も引き続き支援が必要な事業である。 ※補助金該当事業
----	--

②行政評価会議による評価 《Check》

維持	備考
----	----